

伊藤 しゅんすけ

衆議院議員
東京都第23選挙区
町田市



町田生まれ
町田育ち

黙って
は
変
わ
ら
な
い



SNS・ホームページで
最新情報発信中!

i-shunsuke.com
f X @shun76450



LINE
公式アカウント



一生懸命
配信しています!



フォロー・登録を
お願いします!

経歴

1979年8月5日 町田市生まれ 町田市在住/富士幼稚園 卒園/桐蔭学園小・中・高・大 卒業/北京大学 留学/中央大学経済学部 卒業/会社経営 元役員/第46回・第47回衆議院議員選挙 次点/第48回衆議院議員選挙 初当選/第49回衆議院議員選挙 2期目当選/第50回衆議院議員選挙 111,851票 3期目当選

主な役職

党副幹事長/党青年局長/都連選対委員長/議院運営委員会/安全保障委員会/情報監視審査会/日中友好議連/障がい・難病政策推進議連/UR住宅議連/小田急多摩線延伸促進議連顧問/タクシー政策議連/新体操連盟副会長/長野県人会連合会顧問/拉致議連/連合政策フォーラム議員

藤の台団地スーパーの再開決定!

藤の台団地近隣の皆様、日頃から大変お世話になっております。藤の台にお住まいの皆様からスーパーの営業再開についてたくさんのご要望を頂き、私も住宅公団等に再三に渡り、同業種にて早期再開ができるように対応をまいりました。ようやく2025年3月末にビッグ・イーとの契約が決まり、スーパーの営業が再開出来る見通しとなりました。オープン日など詳細はこれからですが、出来る限り早期に再開できるよう努力してまいります。また、診療所も再開ができましたが、午後の診療時間延長や整形外科の再開、処方箋の受け渡しなど更なる皆様からのご要望も頂いており、より改善に向けて

対応しております。今後とも、地域のこと等、ご意見やご要望がございましたら、市政、都政、国政にかかわらず、何なりと伊藤俊輔や伊藤俊輔事務所までお声をお寄せください。これからも精一杯頑張らせて頂きます。



衆議院議員 伊藤俊輔

お問合せ先

皆様のお困りごと、ご意見ご要望を是非お聞かせください。

FAX: 03-3508-3640

衆議院議員伊藤しゅんすけ事務所 宛

メールの場合は officeshunsuke2012@gmail.com もしくは [お問合せフォームから](#)



ご意見ご要望をお書きください

ご氏名:

TEL:

FAX:

ご住所:

MAIL:

FAX送信シート



山崎団地出身・在住。東京農大卒。
奨学金を利用して都立高校と大学へ。
母子家庭育ち。介護と仕事の両立を経験。

町田市議会議員
ひがしともみ

東友美

一人ひとりが守られる東京へ。

立憲民主党は2025年6月の
東京都議会議員選挙(町田選挙区)において
「東友美(ひがしともみ)」さんの公認を決定しました。

経歴

1987年 | 岩手県生まれ。5歳で山崎団地に引っ越す。 2002年 | 東京都立忠生高等学校卒業。
1990年 | 正和幼稚園(町田市)卒園。 2007年 | 東京農業大学農学部卒業。
1996年 | 町田市立忠生第五小学校卒業。 2018年 | 町田市議会議員選挙で初当選。
1999年 | 町田市立山崎中学校卒業。 2022年 | 町田市議会議員選挙で2期目当選。

公認を決定!

初めての市政挑戦から約8年、多くの方のお力添えのお陰で、
目標に向けた議員活動に取り組むことができました。

私は幼い頃、父が家のお金を持ち出し失踪、母子家庭になった
後も母からネグレクト(育児放棄)を受けるという、困難を抱える
家庭で育ちました。父が持ち出した金額は大きく、私は奨学金を
借りなければ都立高校に行くことができませんでした。振り返る
と、明らかに行政や外部からの支援が必要な環境であったにもか
かわらず、問題を家族の中だけで抱え込んでいました。暗闇
を彷徨うような日々であったことは今も忘れられません。

このような経験を元に、「小さな声に耳を傾けない政治に幸せな
社会はつukれない」という信念を培いました。そして、政治に最
も遠いところにいた私は、一人で市政に飛び込みました。かつて
の私はそれでも、政治を知らなかったが故に「時が進めば豊か
になり、様々な問題が解決する」と漠然とした希望を持っていま

した。今もそのように思われている方がいらっしゃるかもしれま
せん。しかしながら、私が子ども時代に抱えていた苦しみは、令
和という新しい時代を迎えた現在、さらに悪化しています。貧
困、借金、虐待、いじめ、孤立、非正規雇用、機能不全家族、失踪、
依存症、ギャンブル…。何一つ改善されていません。

私は、心から政治を変えたいと思います。

私の市議としての7年間は、子どもやLGBTQ+の相談窓口の
充実、高齢者のデジタル利用支援、自殺・ハラスメントの防止、貧
困・福祉・マイノリティ・人権政策などを軸に活動してきました。さ
らに、多くの切実なお声に寄りそいたいと国家資格である社会
福祉士を取得しました。これまでは「一人ひとりに寄り添う町田」
を目指してまいりましたが、今後はさらに人権にも注力し、「一人
ひとりが守られる東京へ」を目
標とし活動してまいります。

東友美

東友美さんを 応援しています!